

(別紙)

区分	クラス等	委員からのコメント等
保育内容	全体	「自然の中で子どもが子どもらしい子ども時代を生きること。そして、自然の中で発見し、学び、好奇心を持ち、感謝する。自分がやれることは自分でやる」という保育が実践されている。
保育内容	全体	昔からの日本の伝統・文化を大事にしている、人として生きていく力、根づく力、生きていく力を養っていく保育に力を入れているという印象であった。
その他	幼児クラス	わらしこ保育園自体が、最初、職員と保護者も運営に携わる共同保育所ということもあり、父母との連携というのもしっかりとされている。
その他	全体	方針・理念を打ち出し、それに賛同し、理解する保護者が子どもを預け、職員もそういうところで働きたいという意欲を持つ者が集まってくる傾向があるとのことであった。
その他	全体	保護者の理解のもと、保育が成り立っているという印象であった。
保育内容	全体	五感をフルに使って遊び、自分がどうしたいかを考えて行動するので、児童のけんかもやはり多いとのことであった。
保育内容	全体	(自主性を尊重しているため)「やりなさい」という声かけも、「やっちゃだめ」という声かけもしていなかった。
保育内容	全体	生活の基本は、晴れていたら基本は外で遊ぶということであった。
保育内容	全体	園庭では裸足か草履、または靴を使用するようになっており、園では草履を推奨していた。先生方も草履を履いていた。
その他	乳児クラス	子どもたちが、運動能力が高いという印象を持った。
保育内容	乳児クラス	0歳クラスは動きやすいように、おむつは午睡時のみで、日中はパンツをはいて生活している。
保育内容	全体	おむつに関しては使っていないということで、散歩に行くときに大きなリュックを背負っていて、その中にやはりパンツや着がえがたくさん入っているとのことであった。 排せつの自立が早まるということより、「着替えて気持ちよい」ということがわかるのが大切だと思っているとのことであった。
保育内容	乳児クラス	0歳児の前半は、午前寝(10時半ぐらいから、児童に合わせて1時間から1時間半)があった。

保育内容	幼児クラス	5歳クラスになると、新潟県の農村の協力も得て、1週間の米づくりの合宿を春と秋に実施している。 現地で命を食べているという経験をして合宿から戻ってくる。
保育内容	乳児クラス	おもちゃは積み木、ままごと道具などがあつたが、子どもたちがそれぞれの工夫で遊んでいた。
保育内容	全体	遊具に頼らず、五感を刺激するという保育方針であつた。
保育内容	乳児クラス	子どもたちの使う引き出しの名前が全部漢字で書いてあつたが、平仮名の学習は、小学校に入ってからでよいとのことで特に行っていないとのことであつた。子どもの名前に込められた思いを大切にするという意図があるとのことであつた。
保育内容	全体	小金井に比べ、散歩に出かける時間が割りと遅い印象であつたが、時間はたっぷりととっていた。
保育内容	全体	散歩では、公園などの何かの遊具を使って遊ぶということではなく、途中途中の駐車場とかちよつとした空き地のスペースなどに子どもの興味に合わせて一回一回寄りながら、子どもたちが思い思いにその場の空間を利用して遊んでいるということが印象的であつた。
保育内容	幼児クラス	交差点や道路では、先生方は本当に注意して、「ここを通りなさい」という形で指導していたが、それ以外のところはほとんどダッシュで走っている感じで、本当に我々も走らされた感じであつた。先生方は本当に大変という印象で、2人で19人の児童数を常に確認している状況であつた。
体制等	全体	散歩のときに手をつなはず、帽子も全員が被っていないなど、割と自由な保育を実施しているという印象を持った。
保育内容	一時	年間で幼児の部屋の固定をしてないことが印象的であつた。
保育内容	幼児クラス	5歳児が思い思いに、しっかりと掃除をしていた。
保育内容	幼児クラス	児童は、思い思いに自分たちで遊ぶことを心得ていた。
保育内容	幼児クラス	遊び方を見ている、お散歩に行く途中のところを見ても、子供たちの自主性を尊重しているところから不安に思える場面があつたが、保育士の努力、地域の個性、住民の方の理解などがあつて成り立っているという印象を持った。

保育内容	幼児クラス	お散歩に行く前にトイレに行かず、決まった時間にトイレをさせてないということがあり、また、草履でも靴でもよいし、散歩でも帽子も被らなくてもよいし、手もつながないし、すごく自由な姿勢だという印象を持った。
保育内容	幼児クラス	昼食の開始時間も、12時過ぎであり、小金井よりは若干遅めであった。
給食	乳児クラス	食事については、お腹が空いて自分で食べることを大事にしている。
給食	全体	食事は和食が中心で、週に3回から4回は魚とのこと。その中に少し肉を使用した献立がある。
保育内容	幼児クラス	アレルギーを持つ児童の給食についても、配慮をしているとのことであった。
給食	乳児クラス	給食は、小金井では全部配膳されてから食べているが、おかず等を配膳された順で食べていた。意図としては、「(先に食べることにより)野菜をきちんと食べてもらいたい」ということであった。幼児は全部配膳しているとのことであった。
給食	乳児クラス	食具については1歳7、8カ月には使うことが多いけれども、練習とかではなく、その子が持ちたいと思ったときに持たせればよいという考えで対応しているため、食具を使わず手づかみで食べている児童もいた。
給食	全体	全部陶器の食器であり、大変すばらしいと思った。
給食	乳児クラス	0歳児は3人だったが、保育士も一緒に食べていた。
施設	全体	自然環境にすごく恵まれている。園舎は木の温かみと、床、天井、窓も木枠で全部ガラスが張ってあって、そこが全部オープンに開けてある状況がすばらしい。
施設	全体	机や椅子も全て木製であり、注文製作なので、すごく使いやすいもので統一されていた。
施設	全体	木材がふんだんに使われていて、落ちつく雰囲気がある。戸を開けると、広い土間のような玄関があって、そこからホールにつながり、広いテラスがあるなど、すごく開放的であった。
施設	全体	0歳、1・2歳、幼児のクラスの3箇所にも木製のお風呂が設置されていた。
保育内容	全体	畑が裏庭の奥にあり、そこで実ったものを自分で食べられるように取り組んでいる。

体制等	幼児クラス	(先生方も児童と一緒にどろんこになって遊ぶためか) 2階の職員室の隣の奥には、先生用のシャワー室があった。
体制等	全体	しっかりと職員が配置されていることが確認できた。
体制等	全体	臨床心理士が配置されており、保護者と職員のカウンセリングも行い、地域の方のカウンセリングも行っていたことは素晴らしいと思う。 散歩のときには子どもたちの行動観察を行っていた。
体制等	全体	調理員の方も正規職員であり、きちんとした雇用のもとで安定して働いているという印象であった。
体制等	幼児クラス	職員の働き方は、単純に非正規の人も、フルタイムか午前・午後かという感じで、安定している印象をもった。
その他	全体	父母会役員との話し合いは年2、3回ぐらい。運営委員会を開催しているとのことであった。運動会はかなり父母が手伝い、父母会と共催でお祭りを開催するなど、父母との協力が大きい印象であった。また、ぬいぐるみ等は父母が作製しているとのことであった。絵本の修繕も父母が行っているとのことであった。